

# 偽装ラブホテル隠れみの

## 風俗店違法に経営容疑

県警、男ら書類送検へ

「偽装ラブホテル」と呼ばれる違法営業のホテルを違法風俗店に使用したとして、兵庫県警生活環境課と葺合署などは11日午後にも、風営法違反容疑で、ラブホテル経営「テンシヨウ」（神戸市中央区）とデリバリーヘルス店「クリスタルマジック」（同）、両社の実質経営者の男(41)と大阪府寝屋川市に3人を書類送検する。

2社は契約を交わし、デリヘル営業のために用意したホテル客室に男性客を誘導。実質経営者の男が、客を送り込んでいたとみられるという。

県警は県内に175施設の偽装ラブホテルを確認し、違法営業の排除に取り組んでいるが、同ホテルを隠れみのにした違法風俗店の立件は初。

6月、県条例でラブホテル営業が禁止されている同市中央区生田町で「ホテルフランシユール」を経営した疑いがもたれている。クリスタルマジックは同ホテルの客室を使

って、県条例で新規開店が禁じられている店舗型性風俗店を営業したとみられる。捜査関係者によると、

余剰ワクチン  
身内に接種  
鳥取県、病院を注意  
鳥取県南部町の西伯病

捜査関係者によると、テンシヨウは今年5月、

性件  
西三毛支二一・一(女ハシと)三